

夕刊 新報

発行日七十二月七 日七十月一十一年一十和昭

擔がれた話

平日大津南道中コント 酒井孤村

「今度は僕の番ですか、してして平町を夜半に出発しやぞとせよやうな凄惨な所湯本一泉一勿來と海岸をテをお聴かせませう」

高橋是清

松浦泉三郎作 佐々木今朝吉書

東家の升吉(一) 和喜次の住居が福井屋に變るとあそびの本據も日本橋に移つた

その道での家の者で、友人の山岡次郎が、藩命を帯びて、間もなく洋行すると決つた時

雲灼けぬ

好問 伊藤寒山子

アカンヤのみどりがおくる風すすし 雲白く青嶺に湧きど地は灼けぬ

童魔物を食

阿部頼俊

「何でもないわ。お兄ちゃんに世界一の名人でせう。た國の爲に名人のお父さんとお兄さんの命を助かれば、私は死んでもいいよ」

吸込んで 新らしい太陽に祈る 7月28日 7月28日 7月28日

和喜次は、いつの間にか、片手を男の膝に置いて、離れて四半の疑った調子で、腹を、腹とした眼で見廻し、もう、どうしようもない、気が持たない、口籠りながら、キツパリと言つて、涙ぐんだ

小

「又そんな」 「だが、誰がこんな部屋へ連れこんだのだ？」 「迷惑だ」 「迷惑だ、無断で入つて来た」



「迷惑だ、無断で入つて来た」 「樹吉！」 「樹吉が、誰がこんな部屋へ連れこんだのだ？」 「迷惑だ」 「迷惑だ、無断で入つて来た」

和洋建築具 片寄製作店 製作販賣 片寄製作店

アロフェノール 平田町部薬舗

信用堂洋服店 婦人 清凉着 カンタン服特賣

和洋建築具 片寄製作店 製作販賣 片寄製作店

明雲堂眼科醫院 新妻幸之助

御禮 生ビール發賣以來連夜豫定の樽数を賣盡し有難う存じます

雨の日の活躍は 敷島の雨具で 敷島テント店

高久病院 内科 外科 小児科

根本産科醫院 根本庄次郎

根本産科醫院 根本庄次郎

